



## 文化庁と九州大学による共同研究がスタート！ 「アートと社会包摂」について考えるフォーラムを開催

昨今、文化芸術と社会包摂の結びつきが深まっています。子ども、若者、高齢者、障害者、在留外国人など、さまざまな人たちがアートを通して社会とつながり、生きがいや居場所を見いだす活動が各地で活発になってきました。その一方で、このような活動が既存の社会福祉活動とどう異なるのか、どう評価されるべきか、文化関係者と福祉関係者がどのように連携していけるのか、といった点について意見が錯綜しています。

この度九州大学は「文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」に採択され、社会包摂へとつながるアートの可能性について、文化庁との共同研究を通して検討を開始することになりました。そのスタートとなるキックオフ・フォーラム「アートと社会包摂」では、鳥取大学・群馬大学とともに、アートと社会包摂をめぐる論点を整理し、事例を参照しながら実践方法や政策的支援のあり方を考えていきます

### 文化庁と九州大学の共同研究プロジェクト キックオフ・フォーラム「アートと社会包摂」

- 日時：平成30年3月6日（火） 14:00～17:00（シンポジウム）、17:00～18:00（交流会）
- 場所：アクロス福岡 1F 円形ホール（福岡市中央区天神 1-1-1）
- 対象：文化・福祉・地域づくりなどに関わる行政職員・NPO等団体職員・大学関係者、文化芸術による社会包摂への取組に関わっている人、こうした活動に興味のある人など
- 主催：文化庁、九州大学大学院芸術工学研究院
- 協力：鳥取大学、群馬大学
- 運営事務局：NPO 法人ドネルモ

### ■内容：

趣旨説明と挨拶

講演：「世界の見え方や関係性を変える仕掛けとしてのアート」

中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院）

「アートがもたらすもの～セルフエスティーム、つながり、オペラ」

川井田祥子（鳥取大学地域学部）

「インクルーシブアート教育とまえばしアートスクール計画」

茂木一司（群馬大学教育学部）

「表現の実践現場からみる社会包摂～九州の事例を手掛かりに」

長津結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院）

ディスカッション

コーディネータ：朝倉由希（文化庁地域文化創生本部）

【お問い合わせ】九州大学ソーシャルアートラボ

電話 & FAX: 092-553-4552

Mail: sal@design.kyushu-u.ac.jp

# アートと 社会包摂

キックオフフォーラム

# ART

◆ 2018.3.6 (火)

◆ 14:00 - 18:00

◆ 場所 : アクロス福岡 円形ホール  
(福岡市中央区天神1丁目1番1号)

◆ 定員 : 100名 (先着順)

◆ 参加費 : 無料 (要事前申込)

social inclusion

主催 : 文化庁地域文化創生本部  
九州大学大学院芸術工学研究院  
協力 : 鳥取大学、群馬大学  
運営事務局 : NPO法人ドネルモ  
後援 : 福岡県、福岡市



